

感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No 1
	全 17

1. 商品名 感震ブレーカー
2. 品番 BQX702
3. 特長
 - 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点滅とブザーの鳴動でお知らせします。
(地震感知状態)
 - 揺れの発生から設定時間(3分または即時)経過後に、主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。
また、設定時間が経過する前に停電が発生したときは、復電による避難中の電気火災発生を防ぐため、復電後即時に主幹漏電ブレーカを遮断します。
 - 住宅分電盤が15°以上傾くと家屋倒壊と判断し、10秒後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。
10秒以内に停電した時は、復電と同時に主幹漏電ブレーカを遮断します。
 - 日本配線システム工業会規格(JWDS0007付2)に適合しています。
4. 安全上のご注意
 - 施工・点検時には感震ブレーカー電源スイッチ・主幹漏電ブレーカおよび上位遮断器を必ずOFFにする。
電源が供給されたままの施工は感電の原因になります。
 - 分解や改造をしない。
感電・故障の原因になります。
 - 強い衝撃を与えない
本製品は精密機器です。落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えると故障の原因になります。
 - 弱電回路や端子間の絶縁抵抗測定はしない。
機器の故障による感電・発熱・発火の原因になります。
 - 擬似漏電出力線のコネクタ、入出力端子は、電線を奥まで確実に差し込む。
擬似漏電出力線はメーカー指定のものを使用する。
出力端子は適正な電線を使用する。
不適正な電線の使用や差込みが不十分な場合、発熱・発火・誤動作の原因になります。
 - 住宅分電盤のカバーを開けない。
感電する場合があります。
 - 点検・修理は電気工事業者(電気工事士有資格者)へ依頼する(施工説明書を提示する)。
不良工事は感電や火災の原因になります。

変更年月日	来歴	制定日	2017年01月12日						
2023/8/01	操作部に品番表示、施工時の注意事項追記	承認		評価		検印		作成	
2024/8/01	本体銘板のラベルをレーザー印字に変更、交換時期お知らせ機能の説明を変更								
2026/4/07	社名変更対応、コンパクト21表記削除、主幹漏電ブレーカ表記に統一。								

感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No 2
	全 17

5. 施工上のご注意

- 施工前に必ず施工説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工は電気工事士の有資格者が行ってください。
- この商品は当社製住宅分電盤専用です。
他社製住宅分電盤には取付けないでください。
- 施工後は施工説明書及び同梱されたシールのお問い合わせ先の欄に連絡先などをご記入のうえ、
施工・取扱説明書を必ず取扱者様にお渡しください。また、シールを住宅用分電盤本体の適切な位置に貼り付けてください。
- 感震ブレーカーを取付ける前に、住宅分電盤の傾きが5° 以内であることを確認してください。
- この商品は主幹ブレーカが漏電ブレーカではない場合、強制遮断機能が動作しません。
(高速形 30mA感度専用)
必ず漏電ブレーカとセットでご使用ください。
※ソルダーレス端子のブレーカ(J型など)には接続できません。
- 擬似漏電出力線の端子は、主幹漏電ブレーカの一次側(N相)に接続してください。
主幹漏電ブレーカの端子がM6またはM8ではない場合、端子を接続できません。
- 擬似漏電出力線のコネクタは確実に接続してください。
接続が不十分な場合、正常に動作しません。
- 施工が終わったら必ず「取付け方向設定」・「施工後の動作確認」を行ってください。

6. 使用上のご注意

- 本商品は震度5強相当の揺れを感知しますが、地震の揺れ方や家屋の構造などにより感知しないことがあります。また、震度5強未満の揺れでも感知することがあります。
(気象庁発表の震度とこの商品が感知する震度は異なることがあります)
- 地震未発生時にブザーが鳴動した場合、本商品の交換時期となった、または電子部品が劣化している可能性があります。
電源表示灯が点滅している場合、正常に地震感知しないおそれがあります。取扱説明書の「故障かな?と思ったとき」をご参照いただき、すみやかに施工店または電気工事業者(電気工事士有資格者)へ交換を依頼してください。
- 本商品交換時には、施工店または電気工事業者(電気工事士有資格者)により停電を伴う作業が必要です。
- 感震ブレーカーを廃却するときは、産業廃棄物として関連する法律に従って適切な処分をしてください。

感震ブレーカー

No 3

商 品 仕 様 書

全 17

7. 商品仕様

- 当社製住宅分電盤専用です。他社製住宅分電盤には取付けないでください。
- 一般住宅の屋内に取付けて使用してください。

品番		BQX702
定格電圧		AC 100 V (50/60 Hz)
消費電力		1W以下(通常時) ・ 2W以下(ブザー鳴動時)
使用環境		周囲温度: -10℃～60℃ 周囲湿度: 90%以下(ただし結露無きこと)
適応相線式		単相3線式(1φ3W) ・ 単相2線式(1φ2W)
適応主幹ブレーカ		漏電ブレーカ 高速形 30mA感度専用 ※ソルダーレス端子のブレーカ(J型など)は接続不可
入出力端子仕様		適用電線 AEまたはCPEV線 φ0.65 配線長 最大20m
感震動作機能	地震感知	震度5強相当にて地震感知 250 gal 周期0.3秒・0.5秒・0.7秒にて動作 250 gal 周期0.1秒および 80 gal 周期0.3秒・0.5秒・0.7秒にて不動作
	地震感知時の報知機能	感震表示灯(橙色)の点滅およびブザーの鳴動(2kHz、約60dB)にて報知 ※別売のおしらせユニット接続時には、同ユニットへ音声報知用信号を出力
	主幹漏電ブレーカの自動遮断・解除機能	・地震感知から設定時間後に主幹漏電ブレーカを遮断する信号を出力(解除/テストボタン操作にて解除可能) ・地震感知から設定時間以内に停電が発生した場合、復電時主幹漏電ブレーカを2秒以内に遮断する信号を出力
	傾き感知動作機能	本体が15° 以上傾くと、10秒後に主幹漏電ブレーカを遮断する信号を出力 ※10秒以内に停電したときは復電時遮断
	停電補償機能	停電後、8秒以内に震度5強相当の揺れが発生した場合、復電時に主幹漏電ブレーカを遮断する信号を出力
機能テスト	解除/テストボタン操作による各動作テスト	・短押し時(約2秒未満): 地震感知時の動作と同一の動作 ・長押し時(約2秒以上): すぐに主幹漏電ブレーカ遮断信号を出力
交換時期お知らせ機能		設置後の初回通電から本体への通電時間が約10年経過後、電源表示灯(緑色)の点滅とブザー鳴動(ピピッ、ピピッ音 約50 dB)で交換時期を通知 ※ ブザー鳴動は1回につき3分間継続 ・ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下した場合 鳴動停止<電源表示灯(緑色)の点滅は継続> 停止後、約1ヵ月後にブザーが再鳴動。ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下するとブザー鳴動が停止し、その後の鳴動なし ・ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下しない場合 約23時間後に再鳴動<電源表示灯(緑色)の点滅は継続> ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下しない限り 約23時間ごとに繰り返し鳴動
部品異常お知らせ機能		定期的に内部電子部品の状態を監視し、異常がある場合、電源表示灯(緑色)・感震表示灯(橙色)の点滅とブザー鳴動(約50 dB)(ピッ、ピッ音)により本体の交換を通知
絶縁抵抗		5MΩ 以上(500V絶縁抵抗計 充電部～ケース間)
耐電圧		リーク電流10mA以下(AC1500V 1分間・充電部～ケース間)
雷インパルス不動作		7kV 1.2×50μ秒 正負各3回(電源端子～ケース間)

感震ブレーカー

No 4

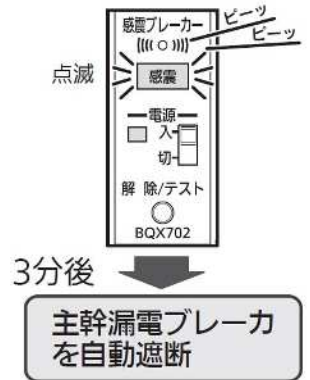
商 品 仕 様 書

全 17

8. 動作説明

8.1. 地震感知時の動作(遮断時間切替スイッチが「3分」の場合)

- 地震感知後3分間停電しなかった場合
- 1. 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーツ、ピーツ音)でお知らせします。
※ブレーカを自動遮断したくない場合は、揺れを感知した後3分以内に解除/テストボタンを押してください。感震表示灯は消灯、ブザー鳴動は停止し、待機状態に復帰します。
- 2. 揺れを感知してから3分後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。
※2分30秒後～3分後の間は、感震表示灯の点滅、ブザーの鳴動間隔が短くなります。



- 地震感知後3分以内に停電した場合
- 1. 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーツ、ピーツ音)でお知らせします。
- 2. 揺れを感知してから3分以内に停電が発生した場合、次回の復電時に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。

※地震感知から3分以内に主幹漏電ブレーカを手動でOFFした場合、停電した場合と同様に、復電時(手動でON時)に自動遮断します。



感震ブレーカー

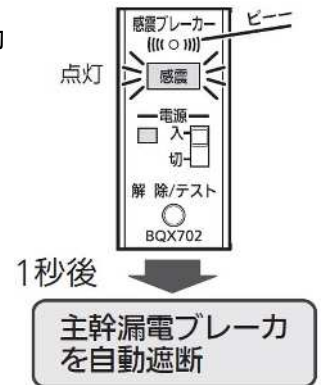
No 5

商 品 仕 様 書

全 17

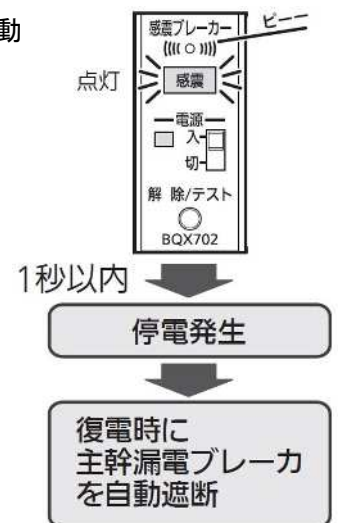
8.2. 地震感知時の動作(遮断時間切替えスイッチが「即時」の場合)

- 地震感知後1秒間停電しなかった場合
- 1. 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点灯と、ブザーの鳴動(ピーー音)でお知らせします。
※解除/テストボタンで待機状態に復帰することはできません。
- 2. 揺れを感知してから1秒後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。



- 地震感知後1秒以内に停電した場合
- 1. 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点灯と、ブザーの鳴動(ピーー音)でお知らせします。
- 2. 揺れを感知してから1秒以内に停電が発生した場合、次回の復電時に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。

※地震感知から1秒以内に主幹漏電ブレーカを手動でOFFした場合、停電した場合と同様に、復電時(手動でON時)に自動遮断します。



感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No6
	全17

8.3. 地震波感知記憶機能

1. 停電が発生してから8秒以内に震度5強相当の揺れが発生した場合、次回の復電時に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。

感震ブレーカー

No 7

商品仕様書

全 17

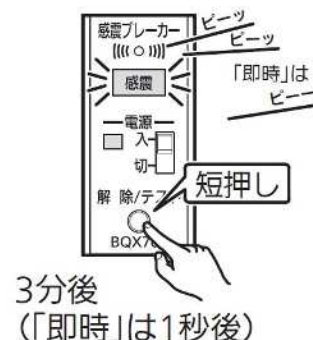
8.4. テスト動作

- 感震機能のテスト動作
解除/テストボタンの短押し(約2秒未満)で、感震時の動作確認ができます。

1. 遮断時間切替スイッチが「3分」の場合

- ◆ 感震表示灯の点滅
- ◆ ブザー鳴動(ピーツ、ピーツ音)
- ◆ 解除/テストボタン操作から3分後に主幹導電ブレーカが自動遮断

※ブレーカを自動遮断したくない場合は、解除/テストボタン操作後3分以内に解除/テストボタンをもう一度押してください。感震表示灯は消灯、ブザー鳴動は停止し、待機状態に復帰します。



主幹漏電ブレーカを自動遮断
(家全体が停電します)

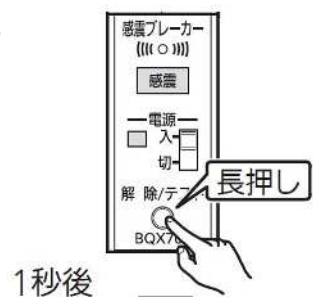
2. 遮断時間切替スイッチが「即時」の場合

- ◆ 感震表示灯の点灯
- ◆ ブザーの鳴動(ピーー音)
- ◆ 解除/テストボタン操作から1秒後に主幹漏電ブレーカが自動遮断

※解除/テストボタンで待機状態に復帰することはできません。

- 主幹漏電ブレーカ遮断機能のテスト動作
- 1. 解除/テストボタンを長押し(約2秒以上)することで、主幹漏電ブレーカの遮断動作だけを短時間で確認できます。
- ◆ 感震表示灯の点灯
- ◆ ブザーの鳴動(ピーー音)
- ◆ 解除/テストボタン操作から1秒後に主幹漏電ブレーカが自動遮断

※解除/テストボタンで待機状態に復帰することはできません。



主幹漏電ブレーカを自動遮断
(家全体が停電します)

感震ブレーカー

No 8

商 品 仕 様 書

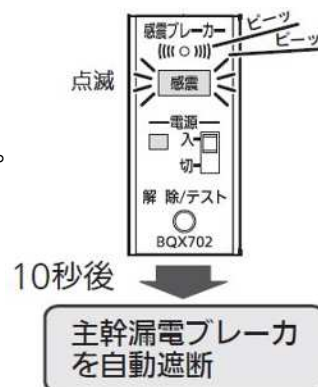
全 17

8.5. 傾き感知時の動作

➤ 本機能は、取付け方向設定が完了したときの感震ブレーカーの傾きを基準として動作します。

● 傾き感知後10秒間停電しなかった場合

1. 15°以上の傾きを感知すると、感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーツ、ピーツ音)でお知らせします。
※解除/テストボタンで待機状態に復帰することはできません。
2. 傾きを感知してから10秒後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。
※5秒後～10秒後の間は、感震表示灯の点滅、ブザーの鳴動間隔が短くなります。



● 傾き感知後10秒以内に停電した場合

1. 15°以上の傾きを感知すると、感震表示灯の点滅と、ブザーの鳴動(ピーツ、ピーツ音)でお知らせします。
2. 揺れを感知してから10秒以内に停電が発生すると、次回の復電時に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。

※地震感知から10秒以内に主幹漏電ブレーカを手動でOFFした場合、停電した場合と同様に、復電時(手動でON時)に自動遮断します。



感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No 9
	全 17

8.6. 交換時期お知らせ機能

- 設置後の初回通電から本体への通電時間が約10年を経過すると、電源表示灯の点滅とブザー鳴動(ピピッ、ピピッ音)で交換時期であることをお知らせします。
解除/テストボタンを押してブザーを停止し、施工店または電気工事業者(電気工事士有資格者)へ感震ブレーカーの交換を依頼してください。
※交換時期を過ぎると、正常に地震感知しない場合があります。
- ブザー鳴動は約23時間周期で、1回につき3分間継続します。
- 電源表示灯は点滅を継続します。
- ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押した場合
鳴動停止します。停止後、約1ヵ月後にブザーが再鳴動します。
ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押すとブザー鳴動が停止し、その後は鳴動しません。
- ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押さない場合
約23時間後に再鳴動します。ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押さない限り
約23時間ごとに繰り返し鳴動します。
- おしらせユニット(別売)を接続している場合は、おしらせユニットの停止ボタンで、
解除/テストボタンと同様の操作が可能です。

感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No 10
	全 17

8.7. 部品異常お知らせ機能

- 内部の電子部品の劣化を感知すると、電源表示灯・感震表示灯の点滅とブザー鳴動(ピッ、ピッ音)でお知らせします。
※正常に地震感知できない状態です。
- ブザー鳴動は約23時間周期で、1回につき3分間継続します。
- 本体の電源スイッチを「切」にし、すみやかに施工店または電気工事業者(電気工事士有資格者)へ感震ブレーカーの交換を依頼してください。
※解除/テストボタンまたはおしらせユニット(別売)の解除ボタンでは鳴動を停止できません。

9. 施工方法

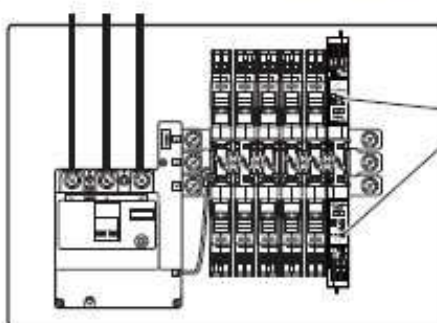
9.1. 住宅分電盤の設置条件

住宅分電盤は、水平・垂直からの傾きが5° 以内となるように設置してください。
本商品の誤動作の原因になります。
※詳細は住宅分電盤の施工説明書をご確認ください。

9.2. 施工時の取付け位置・方向

下図を参考に適切な位置に設置してください。

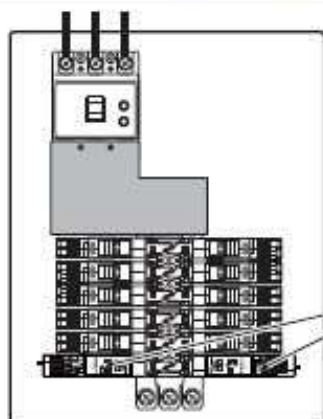
横形住宅分電盤の場合



感震ブレーカー
取付け位置

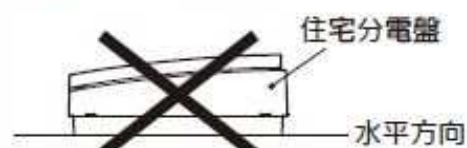
下側取付けを
推奨します。
(上側取付けでも
動作しますが、
表示部が反転
します)

縦形住宅分電盤の場合



感震ブレーカー
取付け位置

床面・天井など水平方向には
設置できません。



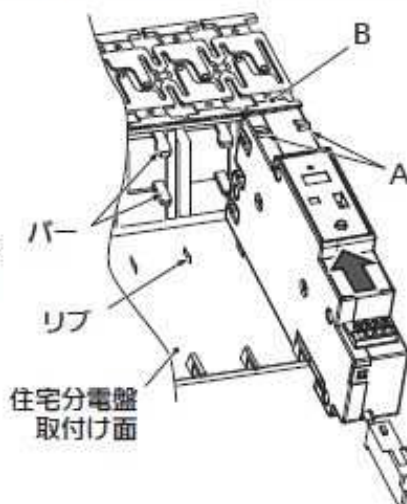
9.3. 遮断時間切替スイッチについて

- 通常は「3分」に設定してください。
- 「即時」への切替えは、保安灯など夜間停電時に照明が確保されることを確認し、取扱者様とご相談の上行ってください。

9.4. 住宅分電盤への取付け・取外し

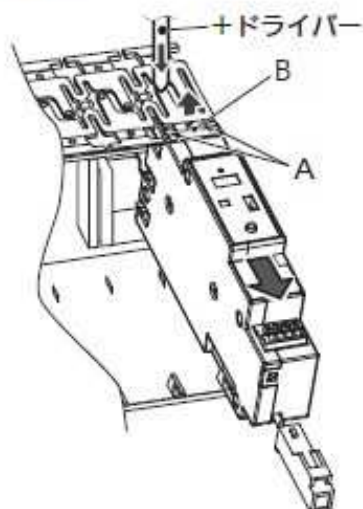
取 付 け

- 住宅分電盤取付け面のリブに商品を合わせ、バーに対して水平に奥まで差込んでください。(B部が商品のA部を乗り越えるまで差込む)



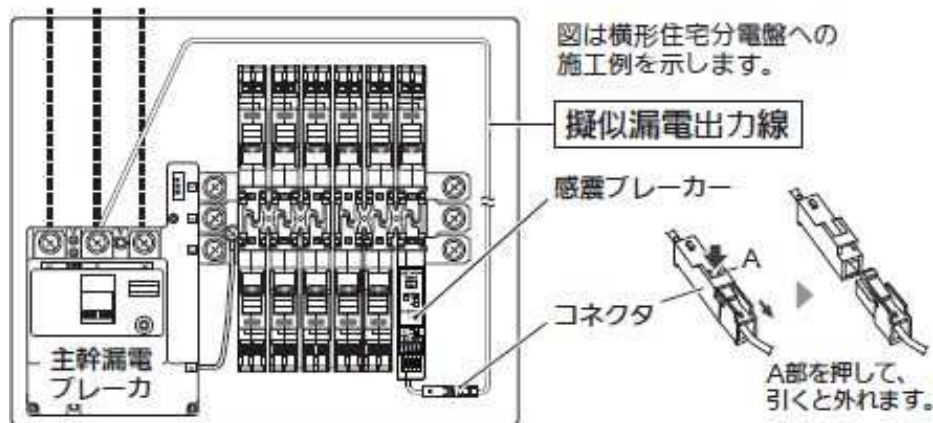
取 外 し

- 図の位置を+ドライバーで押してください。(B部が商品のA部を開放するまで押し込む) その状態で商品を水平に引き外してください。



9.5. 住宅分電盤内の配線のしかた

下図を参考の上、擬似漏電出力線のコネクタを感震ブレーカーのコネクタに確実に接続してください。
また、丸端子を主幹漏電ブレーカの一次側(N相)に接続してください。
(配線後、感震ブレーカーの電源スイッチの「入」を確認してください)



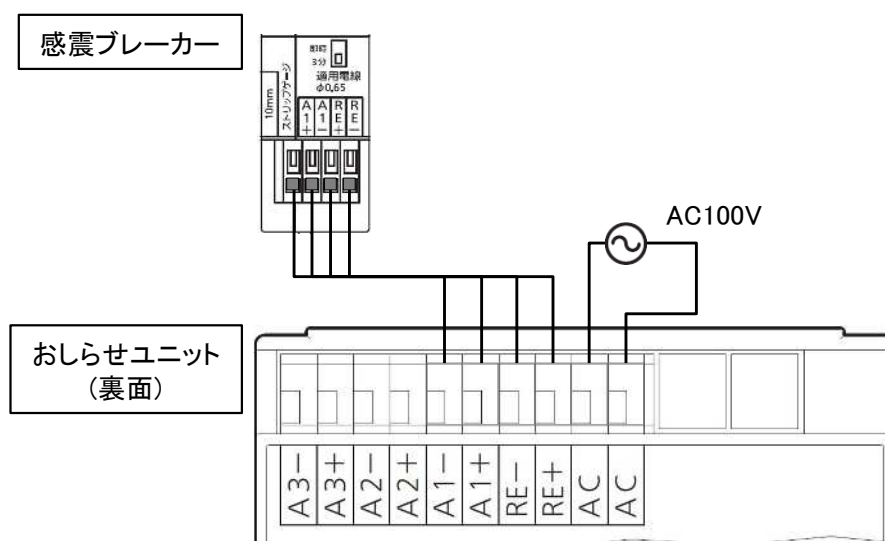
注意

感震ブレーカーを交換する際は主幹漏電ブレーカを「切」にし、コネクタを外し、感震ブレーカーを取り外してください。(前頁参照)

新しい感震ブレーカーを取付け(前頁参照)、擬似漏電出力線のコネクタを確実に接続してから「取付け方向設定」・「施工後の動作確認」をしてください。

9.6. おしらせユニット(品番:BQX710、別売)との接続

下図に従い、入出力端子(A1+・RE+)をおしらせユニットの端子とそれぞれ接続ください。
(適用電線:AE線またはCPEV線 $\phi 0.65$ 配線長最大20m)
※詳細はおしらせユニットの施工・取扱説明書をご確認ください。



感震ブレーカー

No 14

商 品 仕 様 書

全 17

9.7. 取付け方向設定・施工後の動作確認

住宅分電盤の設置、設置済み住宅分電盤への感震ブレーカーの取付け、通電後の住宅分電盤移設など、施工が終わったら取付け方向設定を必ず実施してください。
取付け方向が正しく設定されないと誤動作で主幹漏電ブレーカが遮断されます。

1. 感震ブレーカーの解除/テストボタンを押しながら主幹漏電ブレーカをONにしてください。
電源表示灯が点灯してから3～6秒の間に解除/テストボタンを離してください。
ピーツ、ピーツとブザーが2回鳴れば取付け方向設定は完了です。
傾き検知は、本手順が完了したときの感震ブレーカーの傾きが基準となります。
2. 主幹漏電ブレーカのONを確認後、感震ブレーカーの解除/テストボタンを2秒以上押し、
動作確認をしてください。
ピーーと1秒間ブザーが鳴り、感震表示灯が点灯し、主幹漏電ブレーカが遮断することを確認してください。(停電します)

感震ブレーカー 商 品 仕 様 書	No15
	全17
10. 別売品・補修パーツ 10.1. 別売品 ● おしらせユニット 品番:BQX710 10.2. 補修パーツ ● 擬似漏電出力線B/K補修品 品番:BQX702100 ● 感震ブレーカー付属シールセット(3枚セット) 品番:BQX702101	
パナソニック エレクトリックワークス株式会社	

感震ブレーカー

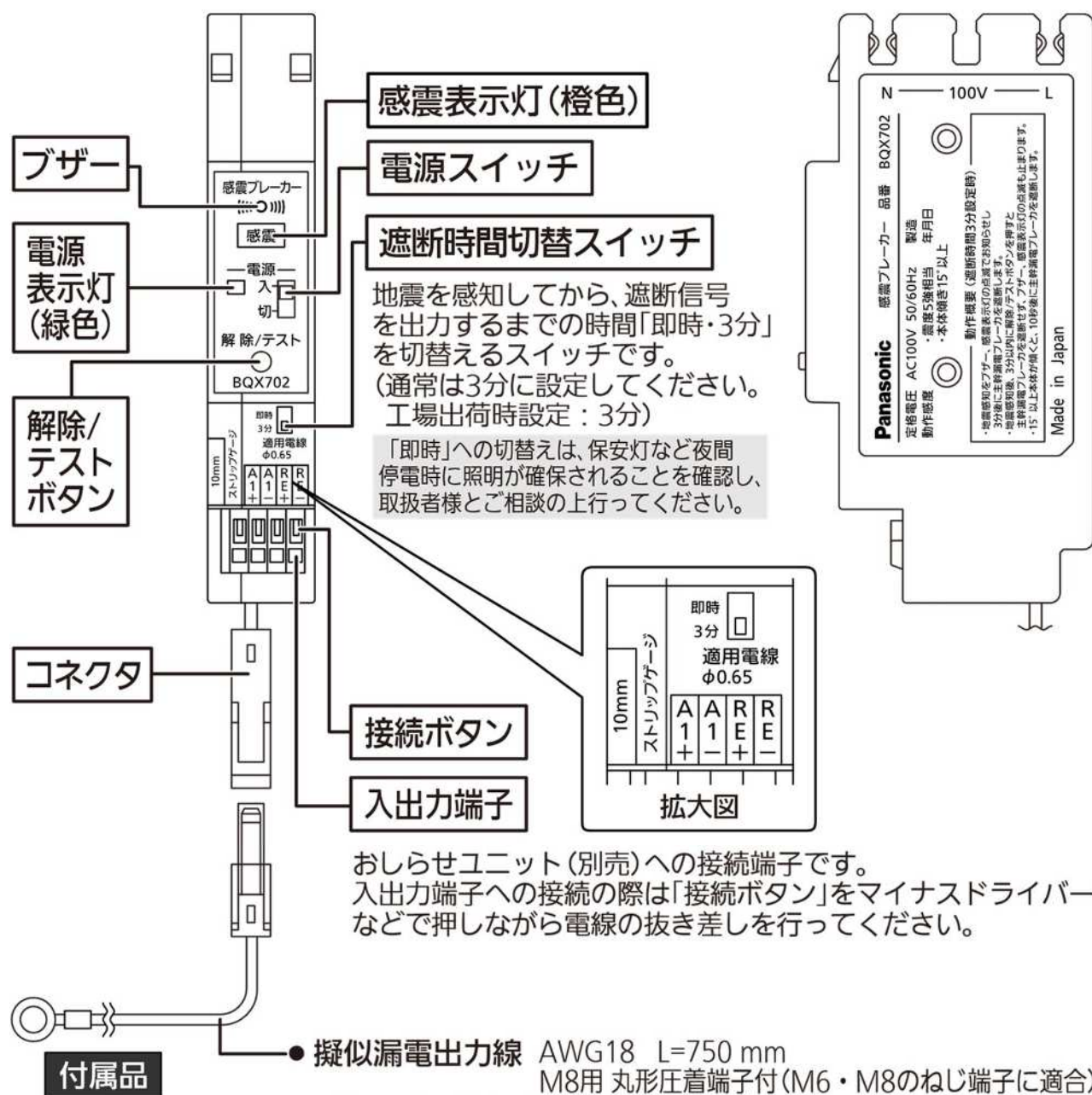
No 16

商品仕様書

全 17

11. 各部のなまえ・付属品・外形寸法

11.1. 各部のなまえ・付属品



感震ブレーカー

No 17

商 品 仕 様 書

全 17

11.2. 外形寸法

